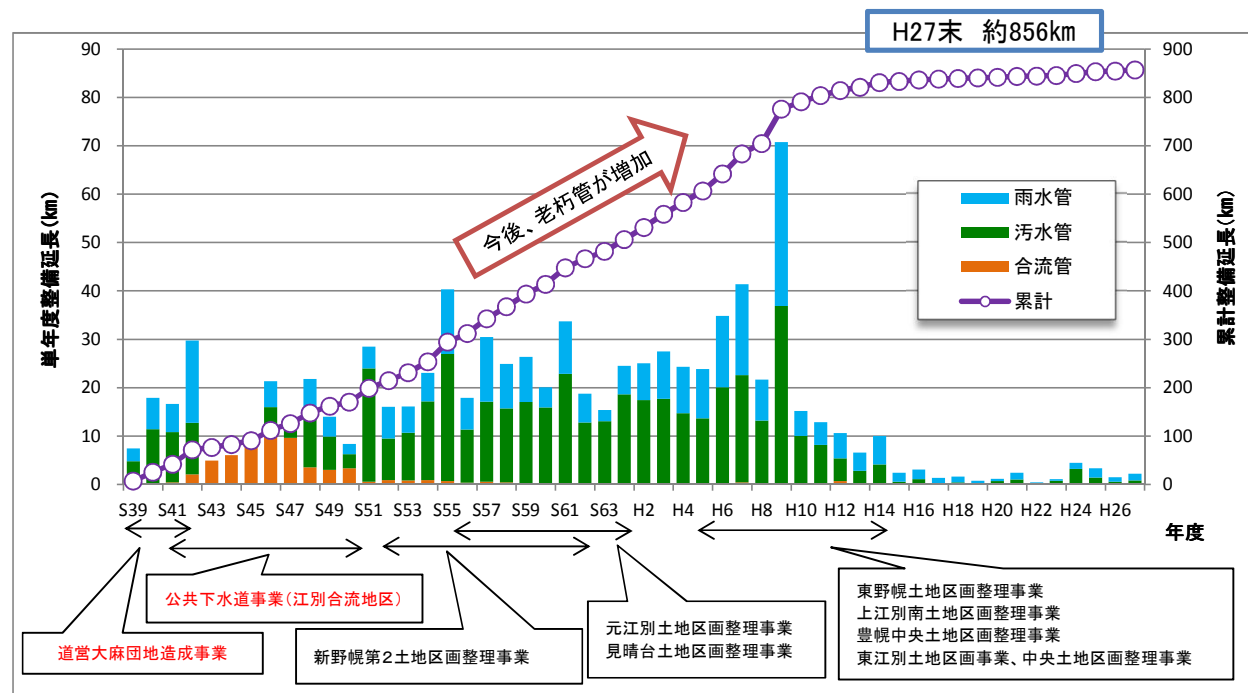


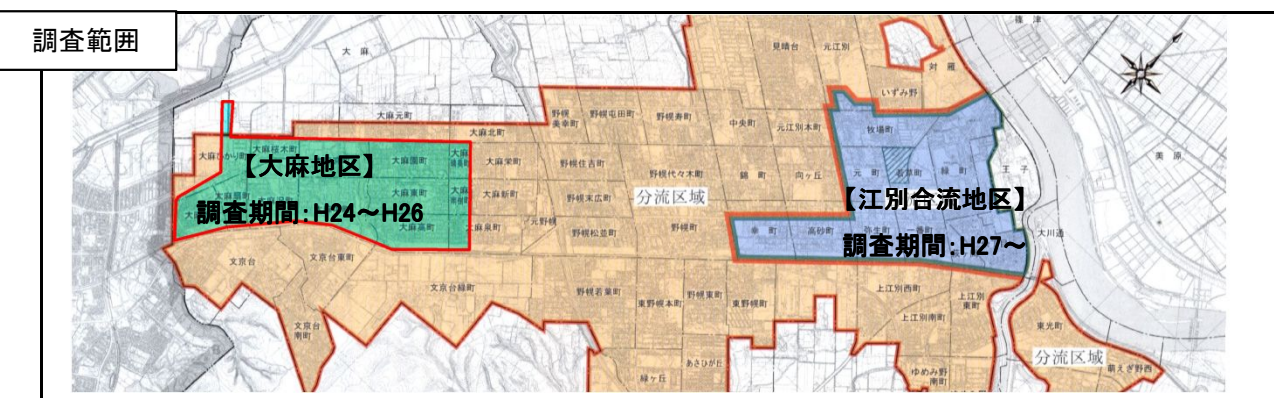
【下水道老朽管の管内テレビカメラ調査の結果について】

★ 下水道管路の年度別整備延長(H27年度末)



- 整備が1番早かった大麻地区では51年、2番目に早かった江別合流地区では49年が経過している。
- 今後老朽管が急増し、下水道機能への支障や道路陥没など社会的に影響を及ぼす可能性がある。
- 経過年数が多い大麻地区から調査、対策を行う。尚、調査は雨水・汚水・合流管について実施するが、対策工事は、常に水流があり硫化水素等による劣化の進行も懸念される汚水管から実施する。

★ 下水道管路の調査実施地区



◎ 調査実施地区

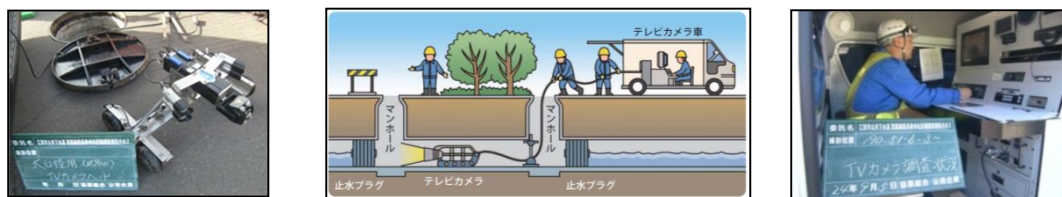
- ①：大麻地区 調査期間：平成24年～平成26年
- ②：江別合流地区 調査期間：平成27年～（現在実施中）

◎ 調査対象

標準耐用年数である50年を経過する雨水・汚水・合流管。
 （※標準耐用年数：国土交通省が定めた耐用年数）

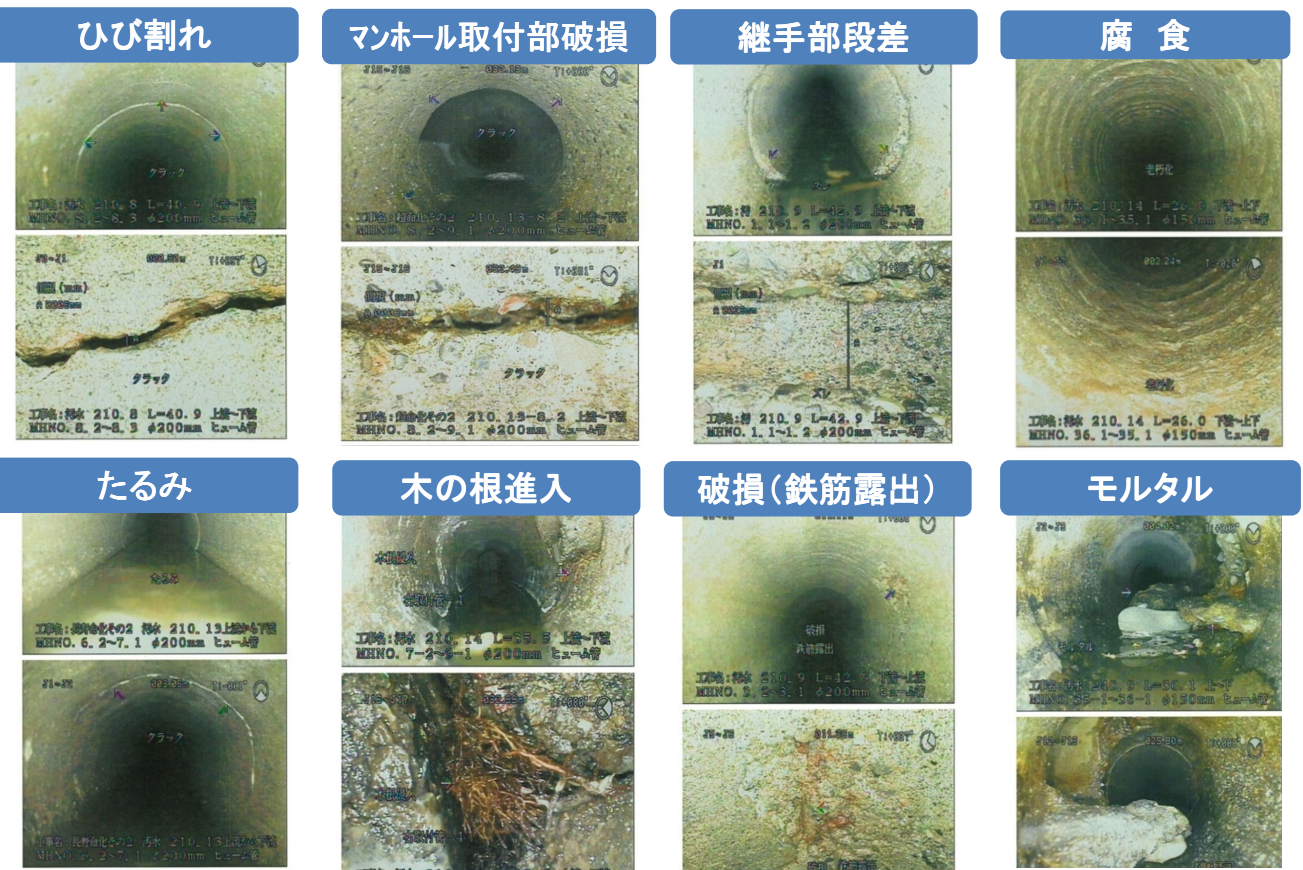
◎ 調査方法

下水道管内テレビカメラ調査、及び目視調査。



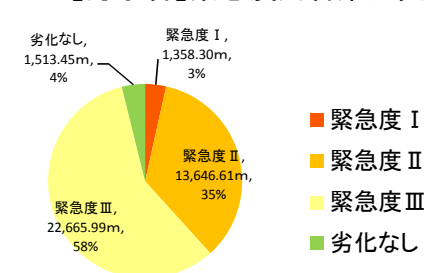
★ 大麻地区テレビカメラ調査で把握できた管内の状況

- テレビカメラ調査により、管内の老朽化状況を確認。（大麻汚水管調査結果より抜粋）



★ 管内テレビカメラ調査結果の概要

【汚水管】緊急度別管渠延長



- 緊急度「Ⅰ」から「劣化なし」までの4段階で評価。
- 緊急度「Ⅰ」は、劣化がかなり進行しており、早急な対応が必要な状況で、「劣化なし」が健全な状況を示している。
- 緊急度「Ⅱ」は劣化が進行しており、対応が必要な状況。
- 緊急度「Ⅲ」は劣化が見受けられ、当面簡易な対応が必要な状況。
- 大麻地区（汚水管）の約4割を緊急度「Ⅰ」「Ⅱ」が占める結果に。

★ 江別市公共下水道の機能維持に向けた今後の取り組み

- 築造から約50年を経過する下水道管では老朽化が進んでおり、今後も公共下水道としての機能を維持するためには、改築（布設替え、管更生）工事等の対策が必要であることが改めて明確に。
- 大麻地区ではH29年度から、緊急度「Ⅰ」「Ⅱ」箇所を中心に、老朽管の改築工事等を実施。
- 大麻地区の対策工事と平行し、江別合流地区カメラ調査結果の評価、判定を実施。
- 大麻地区、江別合流地区に引き続き、順次、市内約856kmの下水道管の調査、検討に着手。

